

○H26ふれあいの森における活動

1. ふれあいの森(田中建設工業(株))

6月7日(土)田中建設工業(株)及び関連会社の社員、家族等の方々57名が参加し、「植樹・クリーンロード作戦 2014」と題して、十和田市奥瀬字谷地国有林119林班内協定箇所において、ブナ苗木100本の植樹と国道102号線沿いの8kmのクリーン作戦を実施しました。

当日は、霧がかかったあいにくの天気でしたが、雨も降らずまずまずの天気の中、当署職員の植樹指導後、植樹と森林教室を実施しました。

森林教室では、「身近な木の利用」として、身近に使われている広葉樹を紹介等を短い時間で実施し、その後は、5班に分かれ国道沿いのゴミ拾いを実施し、ケガ等も無く無事に終わることができました。



参加者の記念撮影



植樹風景



植樹風景



クリーン作戦風景

2. ふれあいの森(青森県生活協同組合連合会)

6月8日(日)青森市、弘前市等から集まった青森県生活協同組合連合会会員とその家族78名の参加により、十和田市奥瀬字谷地国有林119林班内協定箇所において、ブナ苗木200本の植栽を行いました。

当日は、霧がかかったあいにくの天気でしたが、雨も降らずまずまずの天気の中、当署職員の植樹指導後植栽を実施しました。

小さい子供連れの家族や大学生等が多い生協の植樹活動は、年齢層も幅広く、肌寒い中、額に汗を滲ませ一生懸命に植える姿が印象的で、昼食の焼き肉がその疲れを吹き飛ばしてくれました。



開会式後、鍬を持って植樹へGO



植樹風景



昼食風景

3. ふれあいの森(おいらせ知の会)

6月21日(土)、朝霧がありましたが、山では晴れ上がり好天の中での、「おいらせ知の会」の植樹となりました。知の会会員と小学生等含む家族等36名の参加により「川を守るためにみんなで植樹しましょう」をスローガンにブナ苗木100本の植樹を行いました。

当初当署職員が予定していた植樹指導も、4年間の実績から、会員自らお手本にと名乗り上げて実演し、その後参加者全員で木の根と格闘しながら唐鍬で穴を掘り植樹を行いました。

終了後は、昨年豊作だったブナの稚樹を観察したり、木材の利用について森林教室を行い、ケガ等も無く無事に終わることができました。

昼食は、おいらせ溪流まで下山し、ブルーシートに座りおにぎりや豚汁を食べながら会員同士の情報交換と昼食をとり当日の日程を終了しました。



参加者の記念撮影



植樹風景



植樹風景



昨年、ブナ豊作により今年芽を出したブナの稚樹たち。良く見ると二葉が下に付いている。

